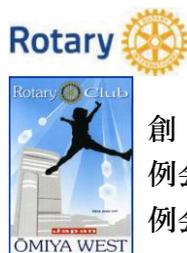


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2020～21年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日 会 長 染谷 義一
例会場：パレスホテル大宮 幹 事 荒井 理人 第2659例会 2020/ 9/28
例会日：月曜日 12:30～13:30 雑誌・会報委員会 榎本 貞寿 発 行 日 2020/10/ 5

ガバナー公式訪問例会

会長挨拶

会長 染谷 義一



皆さんこんにちは。ご出席いただき大変ありがとうございます。そして Zoom でご参加いただいている皆さんもご出席ありがとうございます。本日は国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 中里公造様をお招きしての公式訪問例会です。後ほど卓話を頂戴頂ければと存じます。また、ガバナー補佐であります小暮昭弘様、地区副幹事の黒川幸博様、ようこそお越しいただきました。

本年 2 月 22 日、当クラブの重鎮でありました大竹先輩がお亡くなりになりました。地区幹事をご経験された中里ガバナーとは、パスト地区幹事会のお集まりで大変親しいご関係であったと林先生からお聞き致しました。大竹先輩は以前から「中里さんのガバナーの姿を早く見たい」とよく仰っておられたようです。もう少し頑張っていたら良かったかなと思っております。心からご冥福をお祈り申し上げます。本日の公式訪問例会は、大竹先輩が参加されているつもりで例会を開催したいと思います。

今から 30 年程前に「薫習」と言う言葉を教えて頂きました。草冠の「薫」に、習慣の「習」です。香りが時間をかけて移るように、心の習慣になるまでには時間がかかるという意味で捉えております。ロータリアンの活動・ロータリーの運動も時間を掛けながら少しずつ醸成していくもので、一朝一夕に事が成就することはない。毎日毎日の活動の積み重ねが大輪の花を咲かせるのだと思います。

本日は中里ガバナーをお呼びしての公式訪問例会です。国際ロータリー・第 2770 地区の方針をお伝え頂くと共に、ロータリーの在るべき姿もご教示頂ければ誠に幸いです。

例会・クラブ協議会・懇親会と長丁場になりますが皆様のご協力を宜しくお願い致します。



みんなが開く 新しい扉 ～新しい世界へ～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F
TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882
E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



お客様ご紹介

ご紹介：副会長 小沢 孝

- 第 2770 地区ガバナー 中里 公造 様
- 第 4 グループガバナー補佐 小暮 昭弘 様
- 地区副幹事 黒川 幸博 様 (川口モーニング RC)

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

小林 又次郎 会員



幹事報告



副幹事 十文字 裕司

本日は国際ロータリー第 2770 地区 中里ガバナーを初め、多くのお客様にお越しいただきました。大変ありがとうございます。また、荒井幹事は親族の御不幸がありましたので本日は急速 欠席となりました。

たので副幹事の十文字から幹事報告をさせていただきます。

一昨日に開催されました、米山記念奨学 部門セミナー、そして昨日開催されました 2019-2020 年度 派遣生帰国報告会にご参加されました会員の皆様、大変お疲れ様でした。

本日ボックスに投函させて頂いた、地区主催の職業奉仕部門セミナーのご案内ですが、テーマが記載漏れしておりますので、口頭でお伝えします。テーマは「ロータリーの職業奉仕と社会経営は一致する」です。

最後に本日はクラブ協議会、懇親会と午後 4 時 10 分までの長丁場となりますが、年に一度の大切なガバナー公式訪問例会です。最後までご協力宜しくお願い致します。

委員長報告・派遣役員報告

- 財団支援部門 部門委員長 藤嶋 剛史
10/5 の例会は、米山学友の阮 潔 様の卓話です。
- 米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香
米山記念奨学部門セミナー、2019-2020 年度派遣生帰国報告会の参加報告。

ガバナー 卓話



第 2770 地区ガバナー
中里 公造 様

2020-21 年度 2770 地区のガバナーを務めています、川口モーニングロータリークラブの中里でございます。例年より 2 ヶ月ほど遅れることになりましたが、

9 月より今年度の公式訪問が地区の慣例に従いまして、小林直前ガバナーの所属クラブである

越谷北クラブさんよりスタートいたしました。

ホルガークナーク RI 会長は今年度を迎えるにあたり、コロナ禍の中、新しい日常（ニューノーマル）に向けて「全てのクラブがオンラインの例会を実施できる体制を整えてください」そしてガバナーとして支援してください。また、RI の最高経営責任者（CEO）であるジョン・ヒューコ事務総長からは「オンラインの例会・顔を合わせる例会、それらをかけ合わせたハイブリッド例会、そのいずれもが今後のロータリーでは必然となるでしょう」とのメッセージがございました。



そしてお二人とも、「ロータリーは今、変革の時です。その一例として例会の形態も時代や社会情勢の変化とともに変わっていきます」と述べられています。

私はガバナーの立場として、お二人の言葉を受けて 7 月 3 日付で「地区内全てのクラブがオンラインの例会を実施できるよう準備してください」とのメッセージを配信させていただきました。振り返ってみますと、新型コロナの影響で、今年の 3 月から 6 月初旬までは、地区内ほぼ全てのクラブの例会は休会でした。今後仮に同じような状況になったとしても、オンライン例会を実施できる体制を整えておくことにより、休会にしないことも可能になります。

2016 年の規定審議会の決定により、通常の例会とオンラインの例会の垣根がなくなりました。コロナ終息後も通常の顔を合わせる例会、そしてオンラインでの例会、そのどちらを選ぶかの選択肢はクラブにあるということでございます。

今年度は、ロータリーに於いても今までにない試練の時です。しかし、ロータリーは 115 年の歴史の中で、その時代時代の変化にしっかり対応してきたからこそ、今のロータリーがあります。

今年度 RI テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。そして地区運営方針は「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を」です。皆さんで工夫をし、コロナ終息後のロータリー活動のためにも、新たな機会への扉を開くチャレンジを忘れず、この難局を乗り越えましょう。

例会出席もメイク・アップも、クラブごとに柔軟性を持って対応してください。時にはロータリークラブ定款の例外規定を有効に活用してください。但し、決してコロナを油断することなく、ロータリアン各自の健康を第一に行動してください。



クラブ協議会

例会終了後、クラブ協議会が行われました。各部門委員長、委員長が年度方針を発表、中里ガバナーから総評をいただきました。

